

2. タンパク質研究ベーシックコース（平成24年度10月～平成24年度2月まで、計8回）

目的：当センターに設置してある高磁場NMR等の研究設備を用いて、タンパク質の立体構造、相互作用、酵素反応等の基礎的な研究方法を習得する。

ベーシックコース内容：

| 回数 | 日付 | 内容 | 講師（予定） |
|----|-------|-------------------------|--------|
| 1. | 10/19 | タンパク質研究の概要（講義） | 鎌足 |
| 2. | 10/26 | 配列情報、立体構造をどう扱うか（講義+実習） | 鎌足 |
| 3. | 11/16 | 発現・精製（講義+実習） | 大野 |
| 4. | 11/30 | 安定性・凝集（講義+実習） | 鎌足 |
| 6. | 12/7 | 酵素反応（講義+実習） | 海老原 |
| 5. | 12/14 | CD, NMRによる立体構造解析（講義+実習） | 鎌足 |
| 7. | 12/21 | 結晶化とX線結晶構造（講義+実習） | 海老原 |
| 8. | 1/11 | 相互作用解析（講義+実習） | 鎌足 |

申込期間：平成24年10月1日（月） - 10月15日（月）

申込先：必要事項を明記の上、kiki@gifu-u.ac.jpまで御連絡下さい。

氏名、所属（学科、研究室、指導教員）、連絡先（内線、E-mail）

講義開始：平成24年10月19日（金）

対象：原則、研究室に配属されている学生（受講は自由に応募できるが、出来れば受講に関し指導教員の承諾を得ていることが望ましい。）研究室に配属されていない学生に関しては、要相談。

定員：5名

講義場所：医学本館7階セミナー室

実習場所：医学本館7階7S30, 7S31及び、生命科学棟1階

参考図書：

1. 新生化学実験講座1 タンパク質III 高次構造, 東京化学同人, 1990.
2. Petsko & Ringe, タンパク質の構造と機能, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2005.
3. 桑田一夫, 論理的創薬入門, 共立出版, 2006.

担当者： 鎌足雄司(生命科学総合研究支援センター)、海老原章郎(応用生物科学部)、大野敏(工学部)